

## 2020年度 第5回運営委員会議事録

- 日 時 : 2020年12月23日(火) 13:30~15:30
- 場 所 : サプリ村野 環境保全研修室
- 出席者 : リアル参加…伊丹、市山、丸井、事務局、Zoom参加…阪口、末岡、豊高、
- 欠席者 : 阪本、大倉(枚方市)、宮村、
- 議 長 : 伊丹 ■議事録作成 : 事務局
- 配布資料 : i. 環境教育部会12月定例会議事録 ii. 12月度事務局報告

### 1. 報告事項

#### ①事務局報告

- ・会員が新規7名入会
- ・相談業務2件
- ・ネットワークカフェを1月14日に開催予定

#### <質問>

- ・どうやって会員拡大したのか  
⇒11月のミニ講座の後、参加者の方に会員になることで応援してほしいという事を伝えた。  
まず一人にお願いし、その後他の方にもお願いすることで、加入いただけた。

#### ②プロジェクトチーム・部会報告

##### ◆地球温暖化防止対策推進チーム報告

- ・明後日ミーティングのため、今回はなし

##### ◆環境教育部会

- ・9月のくらわんか塾参加者の一人が、正式に部会員となって出前授業に参加した。
- ・11月以降、出前授業を4回行った。
- ・学校への働きかけも随時行っている。学校は徐々に以前の対応に戻りつつある。1月2月にも出前授業を実施できる可能性は増えた

#### <質問>

- ・入学式・卒業式は、地域の人は一切出席しない。今、感染者が増えているので、3学期は厳しくなることも考えられる。
- ・枚方市では、コミュニティスクールというシステムができている。学校運営協議会を設置した学校がコミュニティスクールとなるのだが、その学校運営協議会の委員の一人は「学校運営への支援活動を行っている者の中から校長が推薦する者」から選ばれる。当法人の環境教育部会長がここに加わることが出来れば、とてもよいと思う。

##### ◆公共交通部会

- ・交通タウンマップ 12月中に3000部印刷中(年間1万部)
- ・写真募集の応募は順調

#### <質問>

写真の表彰は何点か? ⇒4名程度を予定。

##### ◆自然エネルギー部会

- ・12月12日(土)に予定していた自然エネルギー学校の講演会が、会場の利用が禁止となったため中止となった。  
自然エネルギー学校が1度も開催されないということになれば、補助金の返金という状況も

考えられる。

<主な意見>

- ・講師をオンラインにして開催できないか。
- ・準備にかけたお金は、枚方市から補償されると思う
- ・別の部屋でできる体制を整える必要がある。そういうことに費用をかけてもいいのでは。
- ・普段中々出向くことができない会員さんにも見てもらえるという効果がある。

(結論)

- ・中止となったのと同じ内容の講座を 今年度中にオンライン+会議室のスクリーンという2本立てで開催することとし、早急に講演をお願いしていた、倉坂先生に改めて依頼をすることになった。

#### ◆まちづくり部会

特になし

## 2. 協議事項

#### ◆今年度エコフォーラムについて

2月13日(土)10:00~12:30 開催予定。

準備は、当日9:00~10:00に行う。前日はなし。 昼食後 13:30~14:30片付け を予定している。

内容は、午前中、表彰を中心として開催する。午後のシンポジウムはなし。ブースは基本展示のみとなる予定。体験等のブースは一部設置する。

<質問>

開催中止の決定はいつするか。 ⇒ 施設次第。

#### ◆次年度以降のエコフォーラムについて

メセナがリニューアルされ、総合文化会館別館扱いとなり、市が減免で優先利用できなくなり、かつ利用料が高くなる。全館利用もできない。

そのため、サプリ村野での開催も検討。エコフォーラムの位置づけをもう一度見直す。

<主な意見>

- ・エコフォーラムと環境表彰は切り離せないか。2月の体育館は寒い。
- ・ラポールはどうか。⇒ 減免にはならないが予算的に可能ならそちらがいい。
- ・2月に枚方市が表彰式をするのなら、そこに乗ればいいのか。
- ・表彰式会場は、枚方市が借りるので費用の問題はない。
- ・ラポールにすると他の部屋を借りたとしても、パネルもいらないので、その分の費用で賄えるのではないか。
- ・減量推進委員のシンポジウムと一緒にやるための働きかけは当団体の役割かもしれない。
- ・2月に環境関係の行事が3つあるのを一緒にできないか、と市に問うと「市民の参加機会が多い方がよい」という事であった。しかし、出展ブースが同じようなメンバーなので、実際の市民感覚はどうか分からない。出展側としては一緒にしてほしい。
- ・環境表彰をセットでやる意味は大きいと思う。
- ・体育館に暖房を入れることを考えればいいのか。
- ・環境のフォーラムは、市民にいろいろな団体の活動を知ってもらいたい。
- ・活動の一年のまとめの場は必要

(まとめ)

- ・開催の意味は、①一年のまとめの場としての意味をもたせる。②市民への啓発の場

③他団体と一緒に言う といった今までの位置づけを継続する。

- ・場所は、ラポールを第一候補とする。

#### ◆行政との懇談会のテーマについて

一方的な報告を聞くのではなく、当団体としてどういうことをしていきたいか、そのためにどういう協力体制が望ましいかなど テーマをきちんと決めて臨みたい。

<主な意見>

- ・ s - e m s 事業委託が終了するにあたって、今後の取り組み継続について話し合いたい。市の職員や学校の先生も異動が多いので、当団体が継続的に支援していくことをアピールしてはどうか。
  - ・ 具体的な提案としてはどういうことが考えられるか
    - ⇒ 保育園へ出向いて支援、指導していく。できるだけ、わかりやすく、具体的に行動できるような内容の支援をしていく。最初は、ごみの分別の徹底でいいのではないか。その他、スマートライフなど。
- ・ 当団体作成のごみ出しリーフレット 全戸配布もしてもらいたい、など。
- ・ ごみ減量推進委員が地域で指導できるように指導するのはどうか。
- ・ 先日、公共交通の利用促進のため、緊急時のバスからの脱出の方法体験会を実施した。そういった細かいところでもいいかと思う。
- ・ 枚方市の第3次環境基本計画案に掲載されている 2050 年の枚方市のイメージでいいのではないか。
- ・ そのイメージに近づけるために何を行うのか、もう少し踏み込んだ具体的な提案が必要。
- ・ 2 ページ目の▼のところの具体案を今から決める。
- ・ 基本計画から実施計画を作成する際に当団体の提案も反映してもらえないだろうか。
- ・ 環境審議会では、今のところ、方向性しか決まっていない。今までと大きく違うところは、「地域から地球へというスタンス」である。地域からの発信、枚方市からの発信。その柱は、環境教育とパートナーシップである。この部分をネットワーク会議が担いたい。そういったことを具体策に落とし込むことがこれからの課題。
- ・ パートナーシップならば、きちんと補助金をいただきたい。経費が発生するのだから、予算確保は必須である。予算をきちんととるという姿勢を示すことは大切だと思う。

結論：枚方市の第3次環境基本計画案に掲載されている 2050 年の枚方市のイメージに関連して、枚方市が掲げている「2050 年までに二酸化炭素実質排出量 0」と「プラごみポイ捨て 0」についての取り組みに関する考え方、及びそれぞれが担う役割についてなどを意見交換していくこととした。

その中で、S-EMS の継続、補助金の確保等の話もできればいいのでは

#### ◆他の意見や協議すること

- ・ 理事長と副理事長で、市長へ新年のご挨拶に伺っていただきたい。

**\*\*次回運営委員会\*\* 1月18日（月）13：30～15：30 サプリ村野 環境保全研修室**